

身近にある
日本書紀ゆかりの地を
めぐってみませんか。

日本書紀 めぐり旅

Vol.13



はなえしき
花会式
花会式が日本で最初に行われたのが飛鳥寺。釈迦の誕生日であり、飛鳥大仏が開眼した日でもある4月8日に開催。
※4月7日～9日は、本堂の拝観に制限があります。

「飛鳥寺」 「飛鳥大仏前」
バス停下車
所 明日香村飛鳥682
問 ☎0744-54-2126
日本書紀で奈良を楽しむPR映像をYouTubeで放映中
奈良まほろまん 仏教伝来 検索

飛鳥寺

日本で最初の本格的寺院

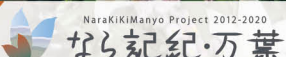
遥かなる歳月を越えた飛鳥大仏

用明天皇2年(587年)、国に仏教を広めようとする蘇我馬子は、反対する物部守屋との戦いでの勝利を祈念し、寺の建立と仏教を広めることを誓います。そして飛鳥の真神原の地に法興寺を建てたことが『日本書紀』に記されています。法興寺は、百済からの技術を取り入れた、日本で最初の本格的寺院。のちに飛鳥寺とも記されます。

右それぞれ見る方向により表情が違って見えます。鎌倉時代の火災により大きく罹災しましたが、近年の調査では顔や右手の大半が造立当時のものである可能性が高いとされています。『日本書紀』に数多くの記述が残る飛鳥寺は、当時の飛鳥の中心的な存在であったことがうかがえます。飛鳥寺西方にあったとされる榎の木の間は、蹴鞠の会で中大兄皇子と中臣鎌子(鎌足)が出会った運命の場として登場しています。本尊の飛鳥大仏は、1400年以上の遥かな歳月を経て、なお同じ場所に鎮座し、今も人々の崇敬を集めています。



「なら記紀・万葉名所図会～日本書紀・歴史体感編」(2月中旬発行予定) 奈良県制作



『日本書紀』完成1300年にあたる2020年(平成32年)に向けて、「なら記紀・万葉名所図会」の新編「日本書紀・歴史体感編」を発行します。中学生向けに『日本書紀』に登場する人物やエピソード、ゆかり地などを紹介。『日本書紀』に親むことができる冊子です。『日本書紀』に触れて、奈良県の魅力を再発見してみませんか。(無料配布・1人1部)

問 県文化資源活用課 ☎0742-27-8975 所 〒630-8501 奈良市登大路町30

配布場所 県文化資源活用課

※郵送希望の場合は、封筒の宛先面に「歴史体感編希望」と明記し、送り先を記載した返信用封筒(A4サイズが入る封筒に205円切手を貼付)を同封のうえ下記へ。

なら記紀・万葉 検索

問 県広報聴課 ☎0742-27-8326 FAX 0742-22-6904